

「広域医療局」の取り組みについて（平成24年度）

＜平成24年度「広域医療局」関連予算＞	215,738千円
1 関西広域救急医療連携計画の推進	1,088千円
2 広域的ドクターヘリの配置・運航	212,774千円
3 広域災害医療体制の整備	116千円
4 人材の育成	1,350千円
5 医務管理費	410千円

1 関西広域救急医療連携計画の推進

(1) 「関西広域救急医療連携計画推進委員会」の設置

計画に位置付けた施策や取組目標の着実な推進を図るため、外部有識者からなる「関西広域救急医療連携計画推進委員会」を設置

(2) 高度専門分野における医療連携のあり方検討

「4次医療圏・関西」の構築に向けた新たな連携課題として、計画推進委員会において、「高度専門分野における医療連携のあり方」を検討

＜開催状況＞

- ・平成24年8月29日 第1回推進委員会
- ※今後、2回程度開催予定（11月、1月頃）

＜委員一覧＞ ◎会長 ○副会長

	委員	職
	江口 豊	滋賀医科大学教授
○	香川 征	徳島大学長
	加藤 正哉	和歌山県立医科大学教授
	北野 博也	鳥取大学医学部附属病院病院長
	小池 薫	京都大学大学院教授
◎	邊見 公雄	全国自治体病院協議会会長
	溝端 康光	大阪市立大学大学院教授

2 ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実

(1) 3府県ドクターヘリの運航

豊岡病院を基地病院とするドクターヘリの運航に関する業務を推進

(2) 平成25年度の政府予算に対する提言

ドクターヘリの安定的な運航体制の確保を図るため、予算枠の確保や補助基準額の見直しについて厚生労働省へ提案

(3) 大阪府ドクターヘリによる「京都府南部」への運航拡大

本年9月中を目途とした京都府南部への運航拡大に向け、大阪府、京都府、関西広域連合の3者による基本協定の締結(平成24年7月12日)

<基本協定の内容>

①運航範囲

京丹波町以南の市町村

(京丹波町、南丹市、亀岡市、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、精華町、笠置町、和束町、南山城村)

②運航開始時期

平成24年9月中予定

(4) 「徳島県」及び「淡路島等」を対象とした徳島県ドクターヘリの運航開始

本年10月の徳島県及び兵庫県淡路島を対象とした運航開始に向け、徳島県、兵庫県、関西広域連合の3者による基本協定の締結について、現在、協議中

<徳島県ドクターヘリの概要>

①運航範囲

徳島県内全域、兵庫県淡路島

和歌山県の一部地域(相互応援)

②運航開始時期

平成24年10月9日予定

(5) 普及啓発フォーラムの実施

地域全体において十分な活用が図られる体制を構築するとともに、導入への「理解」と「気運醸成」を図るため、府県民を対象としたフォーラムを開催(※今年度は、京都府及び徳島県において開催予定)

(6) 広域連合ドクターヘリの愛称募集

広域医療の取り組みを府県民に身近に感じてもらえるよう、「3府県ヘリ」に加え、広域連合への事業移管を行う「大阪府及び徳島県ヘリ」の「愛称」を全国から募集

3. 災害時における広域医療体制の整備・充実

(1) 災害時の広域医療連携マニュアルの作成

初動期の医療支援活動が迅速かつ円滑に行えるよう、広域防災局と連携し、広域連合及び構成府県における連絡体制や役割を定めた「マニュアル」を作成

(2) 災害医療訓練の実施

「内閣府・広域医療搬送訓練（9月1日）」及び「近畿府県合同防災訓練（10月27・28日）」と連携し、構成府県のDMATやドクターヘリを活用した医療救護訓練を実施

◇平成24年度「内閣府・広域医療搬送訓練」の計画概要

南海トラフを震源とする地震及び津波の発生により、徳島県及び高知県が被災したとの想定のもと、自衛隊ヘリや各府県ドクターヘリ、さらには、DMAT等と連携を図りながら、県域を越えた「広域医療搬送訓練」を実施

①被害想定

- ・発生日時：9月1日（土）10時
- ・四国沖を震源とする「南海トラフ」の巨大地震（M9クラス）

②訓練内容

- ・広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）の設置・運営訓練
護衛艦「いせ」、高松空港、松山空港、高知大学医学部附属病院、
- ・被災地内の患者集積拠点設置・運営訓練
あすたむらんど徳島
- ・域外の搬送拠点設置・運営訓練
防府北基地、大分空港、熊本空港（高遊原分屯地）、新田原基地

③DMAT参加数

- ・26府県から178チーム（約1,000名）※
- ・連合管内2府5県からのDMAT参加数：53チーム
（滋賀⑦、京都①、大阪⑩、兵庫⑩、和歌山⑤、鳥取⑤、徳島⑬）

※ DMAT参加数については、悪天候で自衛隊機ヘリやドクターヘリ等の運航が中止となり、一部DMATの参加が困難となったことから実際の参加数とは異なる

※ 徳島県内の訓練に参加予定であった大阪府、和歌山県のドクターヘリについても、悪天候のため運航が中止

4 人材の養成

(1) 災害医療コーディネーター人材養成に係る共同研修の実施

災害医療に関する知識・スキルの向上、さらには顔の見える関係づくりを行うため、中心的な役割を担う人材を対象とした合同研修を実施

(2) ドクターヘリ搭乗医師・看護師養成プログラムの整備

関西から「救急医療人材」を育成するため、連合管内のドクターヘリ基地病院と連携したドクターヘリ搭乗医師・看護師養成プログラムを整備

